

克明の子

学校通信

令和4年(2022年)6月8日
発行) 校長 江尻 暁子

みんなでぽかぽか だれもが安心できる学校 & まちづくり

～自分をみがこう 仲間とつながろう 夢をもとう～

今年度の教育目標です。子ども一人ひとりが、友だちや教職員との安心できる関係を土台として、自分が大切な存在とわかってほしいと願っています。自分が大切な存在と実感できるとがんばるエネルギーが湧いてきます。自分をみがき、仲間とつながり、夢をもとうと子どもたちが思うことができる条件整備を学校・保護者・地域がつながって進めていきたいと思えます。そして子どもたち自身が学校やまちを変えていく主体となれるような教育活動をめざして取り組みを進めてまいります。



克明小学校いじめ防止基本方針

いじめの予防・防止・早期発見のための取り組みや、いじめが発生したときの対応について「克明小学校いじめ防止基本方針」を定めています。

教職員が、一人ひとりの子どもを多様な個性を持つかけがえのない存在として尊重し、すこやかな発達を支援し、“心がぽかぽか”するような、“安心できる居場所”としての克明小学校をめざすことが、いじめの発生を未然に防ぐために必要です。

子どもたちどうしの行き違いやトラブルを早期に発見し、ていねいに話を聞いて、つらい思いが大きくなる前に解決したいと考えています。お子さまのことで、ご心配なことや気になることがありましたら、学校にご連絡いただきますようお願いいたします。

なお、いじめ防止基本方針は本校ホームページ→教育目標・方針に掲載しております。

いじめ・セクハラなど相談窓口

校長・教頭・養護教諭・児童生徒支援コーディネーター

また、担任を始め、教職員は誰でもお話を聞きますので、相談してください。

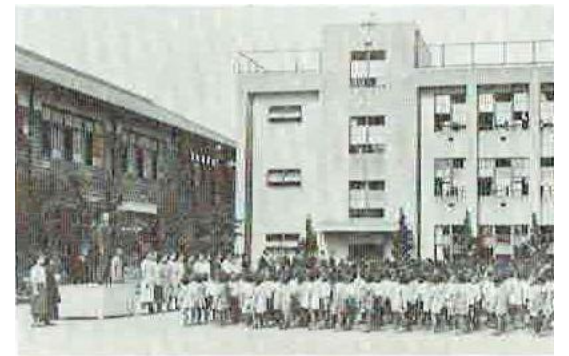
6月10日 創立記念日・平和パネル展

克明小学校は1874年(明治7年)に、第六番小学校、第八番小学校として開校しました。今年で148年目を迎えました。日本で初めて小学校をつくることになったのが1872年(明治5年)ですから、本校はとても早くできた歴史の長い学校です。

学校が今の場所に移ったのは1909年(明治42年)です。一面の低い山で松林がしげっていたところを切り拓いて、新しく平屋の木造校舎が2棟建てられました。阪急電車が1910年(明治43年)に通り、住宅が増えて子どもの数も増えました。1937年(昭和12年)には、鉄筋3階建てコンクリートの北校舎が今の鉄棒のあたりに建ちました。(北校舎は1998年に取り壊され、かがやき校舎が建ちました)

第二次世界大戦中、空襲を避けるために、コンクリートの白い壁に子どもたちがすった墨をかけていました。空襲で被害を受けたときに火を消すための防空訓練もしていました。また、食物が足りないのを補うために、運動場を耕して野菜を育て、豊中市に渡したそうです。1945年6月から7月には豊中市に6回の空襲があり、この克明小学校区にも被害がありました。

戦争中の克明小学校のことを、南校舎1階ぽかぽかの木のところに展示しています。この校区で、この学校で、本当にあったことを知ること、戦争のおそろしさや平和の尊さを身近なこと、自分に関わりのあることとして考えてほしいと願っています。



スクールソーシャルワーカー School Social Worker

毎週木曜日に本校に来ていただいています。お子さまのご心配なこと、相談したいことがありましたら、事前に担任までお知らせください。時間調整をして、日時をご連絡いたします。

裏も
ご覧ください

熱中症の予防について

保健だよりでお知らせしたように、梅雨で湿度が高かったり急に気温が高くな

ったりするこの季節は熱中症の予防に注意しなければなりません。ご家庭の

ご協力をお願いします。

* 水筒に十分な量の飲み物を持ってきてください。(なお、学校の水道水は飲用可能です)

* 熱中症対策の期間中は、お茶のかわりにスポーツドリンクを入れてきてもらいません。

* 登下校のときは帽子をかぶりましょう。

* 登下校のときでお茶を飲むときは、立ち止まって、まわりの安全を確認しましょう。

* 厳しい暑さが予想される日には、日よけ用のかさ(日傘)やクールタオル・保冷剤、冷却シートを持って来てもらいません。

* しっかり朝食を食べ、ゆっくり寝て、体調を整えて登校してください。



学校生活における児童生徒のマスクの着用について

豊中市教育委員会から学校に通知がありました。学校におけるマスク着用の

考え方につきましては、これまで文部科学省が示しておりました内容から変更はあ

りませんが、これから暑くなりますので、特にご留意いただきたいことを下記の通

りまとめましたので、お知らせいたします。

【次のような時はマスクの着用は不要です。】

○屋外において、身体的な距離が十分とれる場合。

○屋内においては、十分な身体的距離が確保でき、十分な換気など感染防止対策

を講じる場合。

○身体的な距離が確保できない場合でも、屋外において会話をほとんどしない

場合。

○体育の授業など運動や激しく体を動かす場合。

○登下校時、会話をほとんどしない場合。

※ 夏期の気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い中でマスクを着用すると、

熱中症などの健康被害が発生するリスクが高くなりますので、熱中症も命に

関わる危険があることを踏まえ、熱中症への対策を優先させてください。